

図書館ボランティアだより 第26号

2016年10月 阪南市立図書館フレンズ広報部会発行

目次

ご存知ですか	『生活に役立つネットオークションの活用』	P2
私のおすすめ	『あなたが生まれてきた理由』 『マララ 教育のため立ち上がり世界を変えた少女』		
	『おはつ』	P3
図書館からのお知らせ		P4

同人誌「貝よせ」紹介

『いつだって』

遠いとか
近いとか
そんなことはいいんです
鳥は鳥の
おもいがあるように
魚には魚の
泳ぐ道があるように
私は
どこに行こう
遠い日
雨上がりのぬかるみの道を
歩いた
いつだったか
緑に抱かれて山の音を
聞いた

旅行かばんは
持たない
ケータイも
いらない
いつの間にか
忘れていた何かを
思い出そう

今日
という日が
いま
生きている時が
いちばん苦いとき
そう
心はいつだって
自由
(貝よせ十五号「詩」より)

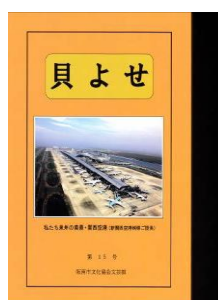
私たちが文芸部約六〇名
が、毎年一回発行している
同人誌「貝よせ」の作品例
です。

俳句や短歌の韻文。エッセーや釣行記、小説等々の
散文。感動したこと、哀しいこと、その時々のお気持ちを文字にした作品集です。
発行部数六〇〇(三三〇頁)は近畿で最多と聞いています。近隣の図書館に展示されています。



喜怒哀楽を文字にするって
気持ちが平和に.....

参加ご希望の方の入部を
お待ちしておりますので、気軽にお電話ください。



阪南市文化協会「文芸部」

連絡先「文芸部花田」まで
〇七二四七五八八五八



《ご存知ですか》 生活に役立つネットオークションの活用



ネットオークションとは

不要な品物を写真と説明を添付しネットで全国に公開し、欲しい人が競り合いをして、最高価格者が落札するしくみです。たとえばヤフオク（出品数が2千万件を超えるといわれる日本最大のオークション）を利用するにはYahooへ入会し、IDとパスワードを取得し、ホームページに入ると、入札、出品などができます。詳細はネットのヤフオクヘルプをご参照ください。

利用するきっかけとその後

家の中を整理し、昔の趣味の本、切手など捨てるにはもったいないと考え、オークションに出品し、高値がついて病みつきとなり、今も以下のように楽しんでいきます。

落札した例：ガラケー（従来型携帯電話）と電池、毛糸数種、SDカード、コピー用インクなど。

出品した例：手編み靴下、お年玉切手、明治大正のお札、古バイオリン、古パソコンなど。

入札、落札方法

入札は無料です。ヤフオクホームページの検索欄に欲しい品物の名称、部品名などを入力すると、出品リストが出ますので、写真をクリックすると、現在の価格、入札件数、残り時間、出品者の評価などが表示されます。注意すべきことは、価格、送料、出品者の評価（過去の取引実績）です。価格が安くても送料が高いことがあります。また出品者の評価で過去にトラブルを起こしている人は避けるのが上策です。気に入ったら入札します。終了時間になり、最高価格者が落札者となります。落札者のみが取引ナビ画面を開くことができ、出品者と送り先と決済方法（銀行送金、ヤフーかんたん決済）などについて連絡し合うことができます。

出品方法

出品には、Yahooプレミアム会員登録（498円/月）が必要です。ヤフオクのホームページの「出品する」欄をクリックし、カテゴリーを選択すると出品情報入力画面が現れます。ここでタイトル、商品説明、価格、期日などを入力します。掲載される写真は、通常3枚で商品の状況がよく判るようにデジカメ等で準備します（画質JPEG、サイズ600×600）。価格は、どうしても処分したい場合は安く、自信があるものは高く設定します。送料は、落札者のためできるだけ安くなるように設定します。落札があると、あらかじめ設定したメールに連絡が入ります。

ネットオークションの効用

以前から欲しくても高価であきらめていたものを、中古で安く手に入れ楽しむことができます。不要品を必要とする人に再活用してもらい、ゴミの処理に困っている家庭や自治体が助かります。また、長年愛用の器具が故障した場合、製造が停止されている部品を手に入れることができます。

皆さんも家の中を整理しながら、ネットオークションを試してみませんか！ KAZU

誰もが人生で一度は考える「私はなぜ生まれてきたのだろう」という問いに、回答があるのだろうか？この本を手にした。読み進めていくうちにその答えと同時に「何故この私になったのか」が理解でき、どんどん興味が湧いてきました。

私の育った家庭では争いが多く「決して皆、悪人ではないのにごうしてぶつかり合うのか」と幼心に不思議に思う事がありました。また、同じ出来事を体験しても違う受け止め方をする理由もわかりませんでした。

単純に言うところ「一人一人違いがあるから」という事でしようが「三つのち」（親の影響、血、時代教育の影響）に大きく左右される」という記述には「なるほど」と思いました。また、「人間には四つの人格を形づくる回路がある」とも作者は言及しています。とても興味深く、自分を理解し、他人を理解する上で大いに役立つ本だと思えます。

尾川 富美子

《児童書》 『おはつ』 工藤 直子 / 著 小学館 K911

“おはつ” すてきな言葉でしょう。世界は毎日うまれたて！そう思うと、新しい朝に感謝して一日が始まるのです。

自然に向ける優しいまなざしが、工藤さんの言葉に乗せられ、どの“おはつ”の写真からは、包み込む様なやわらかな光が感じられます。ところが温かくなったり、思わずクスッと笑えたりします。

ぜひ、子どもたちに読んであげて欲しいです。

私のおすすめ

「一人のことも、一人の教師、一冊の本、そして一本のペン、それで世界を変えられます。教育こそがただ一つの解決策です。」テロで殺された十六歳のマララが二〇一三年に国連本部で演説した言葉である。マララは一九九七年七月二日パキスタン北部山岳地帯のソフトウェアに生まれた。父親は私立学校を経営する教育者であり、彼女は女性が教育を

受けることが難しいイスラム勢力の強い地で医者を目指して勉強していた。十一歳の頃、マララは英BBC放送のブログにタリバンの強権支配と女性の人権抑圧告発の「パキスタン女子中学生の日記」を投稿、教育の機会を奪われた女性たちの希望の星となった。二〇一二年一〇月スクールバスで下校中マララは、武装

集団に銃撃され重傷を負ったが、屈することなく虐げられた女性の為に戦い続けた。二〇一四年ノーベル平和賞を授賞したマララは、世界の人々に「私には二つの選択肢しかありませんでした。一つは、声を上げずに殺されること。もう一つは、声を上げて殺されること。」と演説した。マララは現在英国に住み、子どもと女性の権利の為に今も戦っている。

竹山 保男



心地よい言葉の響きを耳にしなが、写真を見ていると幼い子にも感じる事はできるでしょう。

言葉がこころを育てます。もちろん大人も癒されます。詩は声に出して味わって欲しいと思います。そこには、お話がうまれます。心に種をまいてください。どんな花が咲くのか楽しみです。

佐藤 文子

「見つけよう小さいのち 撮ってみよう豊かな自然」

写真家 今森光彦 講演会 (スライドトーク)

平成29年1月29日(日) 午後2時30分～4時(開場午後2時)

サラダホール 大ホール 全席自由席・入場無料・要申込み

プロフィール

1954年滋賀県生まれ。写真家。大学卒業後独学で写真技術を学び1980年よりフリーランスとなる。以後、琵琶湖をとりまくすべての自然と人との関わりをテーマに撮影する。全国各地の里山を舞台にしたNHK「ニッポンの里山」シリーズ他の製作に協力。一方、熱帯雨林から砂漠まで、広く世界の辺境地の訪問を重ね、取材をつづけている。

また、ハサミで自然の造形を鮮やかにきりとるペーパーカットアーティストとしても知られる。著書に『世界昆虫記』『今森光彦の心地いい里山暮らし12か月』『魔法のはさみ』『ときめくチョウ図鑑』他多数。

※講演会終了後、著書サイン会あり(当日会場で販売する書籍に限ります)

お申し込み

平成28年(2016年)12月5日(月)から、下記のいずれかの方法にて受け付けします。

- ①阪南市立図書館へ直接来館
- ②電話(072-471-9000)
- ③メール(tosyokan@city.hannan.lg.jp)件名は「今森光彦講演会申し込み」にて代表者1人につき、4人までお申し込みいただけます。

定員に余裕があれば、事前申し込みがなくても当日の入場は可能です。

詳しくは、阪南市立図書館ホームページ(<http://www3.city.hannan.osaka.jp/>)をご覧ください。



同時開催 「阪南市の自然」 写真展

平成29年1月27日(金)～31日(火)

サラダホール2F 展示室



阪南市で見られる生き物や植物、風景などの写真を募集しています。応募作品のうち、数点に今森先生のコメントがいただける予定です。募集要項は図書館ホームページに掲載しています。

○応募期間 平成28年11月28日(月)まで
皆様のご応募をお待ちしております。



※ サラダホール2Fでの展示期間終了後は図書館内で2月末まで展示予定です。

主催：阪南市立図書館 電話：072-471-9000

本事業は、全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施する「環境保全促進助成事業」です。